

# 夢窓幼稚園通信第1号

2019年 4月 5日



新しい季節を迎えました。  
大地と光が、その力を甦らせ  
花や樹々に呼びかけ、その姿を  
招き出します。

もくれんの次に、さくらがゆたかに花  
開きました。



卒園生ソフィアの皆さんが植えて下さった  
桜の苗木も、もくれんの脇に静かに植えた  
垂れ梅も、花芽をつけ元気に過しています。  
ひとつひとつが、春の便りですね。

3月末に退職の上田先生が作って下さった  
正門上の「ご自由に」のコーナーの台も、  
どろしりとは皆さんを待っていますよ。



「なをいろあひる」の大きな子どもたちが  
力を合わせて一年間かけて棚を2台製作し  
届けて下さいました。添えられていた手紙の  
言葉は「いつも幼稚園を使わせていただき、  
ありがとうございます。僕達は日ごろの感謝を  
こめて幼稚園のために棚を作りました。

『どうしたら園児がケガをしないか』を考え大工  
さんにアドバイスをもらいつつ完成させました。

ぜひ使って下さい！」です。

確かに棚の角はまあるく危くないように加工  
されていました。



時に応じて花開くいのちあふれる自然の姿も、  
思いと共に人々の手の働きから生まれ届け  
られるひとつひとつの営みも、みんな新しい  
春の素敵なプレゼントです。



くり返される季節への風景に生きる  
よろこびや励ましを与えられ、人々の優しさ  
や思いやりに幸せや勇気を感じるなら

.....

四季折々、日々刻々 私たちは「人間讃歌」の響きの中で過しているといえるでしょう！

4月を<sup>まつりづき</sup>祭月とも いいますが、特に日本の春はうきうきもし、わくわくもし、だからこそまた切なくもあるのでしょう。

30年ほど前に四季の自然の形成力と人の心や身体の在り様から夢窓幼稚園の保育を考へ進めてきましたが、あらためてここでそのことをもう一度思いめぐらし、子どもたちの生活リズムに生かすべく「まつり仕立て」で1年を歩んでいこうと思っています。

例えば4月は「ようこそまつり」というのはどうでしょうか！？要覽一年間の流れの「子どもと季節」の欄は「おひさま」ですがこののぼりを迎え、新入の子が一週間過したことをよろこんでおひさまの下に集めたいと計画しています。大きな行事としてのおまつり・祝祭もありますが、より日常的に自然な形でテーマを皆で共有し、のどかにわくわくうきうきと生活をふくらませていきたいと考えています。

宇宙(自然)の力も、私たち人間の力も、破壊的であり創造的

です。世界はますます渾沌としていくことでしょう。

社会の中で様々なシステムは整えられ、AIとロボットは加速度的に開発され普及していく中で、だからこそ純人間的な営み息づかいも大切です。

一人ひとりがそれぞれらしく、ひとつひとつの「今」を、大切にしたい思いを互いに認め受けとめ合いながら生活していくことが求められることでしょう。

「あなた」と「私」がそれぞれの存在にわくわくうきうきし、そのことがすでに人間讃歌であらういな！と思います。

たどたどしい歩みであるとしても、よろこびから確かな道が作られることを願って進んでいきましょう！ ね。

園長 弁光 泰雄